

平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社ディーバ
 コード番号 3836 URL <http://www.diva.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森川 徹治
 (氏名) 春日 尚義

TEL 03-5782-8600

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	2,725	48.8	249	38.8	239	40.6	136	47.3
24年6月期第2四半期	1,831	28.2	179	—	170	—	92	—

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 137百万円 (48.8%) 24年6月期第2四半期 92百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	57.99	—
24年6月期第2四半期	39.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第2四半期	4,480	1,650	36.8
24年6月期	3,502	1,532	43.7

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 1,650百万円 24年6月期 1,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	46.3	420	2.3	390	1.4	200	4.7	85.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ジール 、除外 1社 (社名)

*詳細は、(添付資料)5ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期2Q	2,347,000 株	24年6月期	2,347,000 株
② 期末自己株式数	25年6月期2Q	79 株	24年6月期	79 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期2Q	2,346,921 株	24年6月期2Q	2,346,921 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(以下、当第2四半期)におけるわが国経済は、新興国の経済成長の鈍化や領土問題の影響で輸出の減少による貿易赤字の拡大及び円高の継続に加え政局も不安定な状況でしたが、12月の政権交代により景気回復への期待が高まっております。

ソフトウェア・情報サービス業界におきましても、経済・社会情勢は企業収益に影響を与え、企業のIT投資に対しても慎重な姿勢が継続しており、市場での受注競争も厳しいものとなっております。

かかる状況の下、当社グループは、より一層の高収益体質をめざし、継続した生産性の向上とコスト削減に取り組みつつ、IFRS(国際財務報告基準)でも必要となるお客様の決算早期化・効率化、企業グループ情報の有効活用のニーズに応え得るグループ統一会計、管理連結・連結経営管理並びに当社製品のクラウド環境での提供、決算業務を一括して引き受けるアウトソース・サービスなど業務領域における多様なソリューションの提供を通じ、大型案件をはじめとする受注の拡大、パートナー企業との連携強化による販売機会の拡大をグループ全体で推進してまいりました。

また、当社の掲げるCPM(Corporate Performance Management:企業業績管理、連結管理会計・連結経営管理)領域の実装・提供能力強化を目的として、BI(Business Intelligence)、ビッグデータ処理に長けた株式会社ジールが新たに当社グループ業績に加わることとなり、IT成長分野への取組みを強化してまいります。なお、当第2四半期より株式会社ジールの業績をグループ連結決算に反映しております関係で、連結売上については大幅に伸長している一方、利益の伸びは、のれんの償却等があり、僅少に留まっております。

この結果、当第2四半期の連結業績は、売上高2,725,270千円(前年同四半期比48.8%増)、営業利益249,366千円(前年同四半期比は38.8%増)、経常利益239,479千円(前年同四半期比40.6%増)、当四半期純利益136,104千円(前年同四半期比47.3%増)となりました。

事業形態別の売上高の状況は以下のとおりです。

<ライセンス販売>

新規案件はパートナー企業との関係構築・強化等により堅調に推移したものの、既存顧客からの大型受注が減少したことにより、ライセンスの売上高は263,817千円(前年同四半期比12.3%減)となりました。

<コンサルティング・サービス>

既存大規模顧客からの大型案件が好調な事や、株式会社ジールの売上が当第2四半期より寄与したこと等により、コンサルティング・サービスの売上高は1,418,278千円(前年同四半期比107.3%増)と前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

<サポート・サービス>

ライセンス販売に伴う保守契約数は堅調に増加推移しており、製品サポート業務の顧客満足度向上に注力することで顧客基盤の安定・強化に努めております。決算業務アウトソーシングサービスも旺盛な顧客ニーズにより増加推移していることと、株式会社ジールの保守売上も寄与したことでサポート・サービスの売上高は921,570千円(前年同四半期比23.2%増加)となりました。

<情報検索サービス>

新規顧客の開拓と検索機能の拡張等による顧客基盤の安定・強化に努めた結果、情報検索サービスの売上高は121,604千円(前年同四半期比23.1%増)となりました。

なお、当第2四半期の受注及び販売の状況は、次のとおりとなっております。

① 受注状況

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期		当第2四半期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ライセンス販売	300,953	—	263,817	—	△37,136	—
コンサルティング・サービス	793,122	513,190	1,638,564	662,241	845,442	149,050
サポート・サービス	673,421	522,868	926,802	654,669	253,380	131,800
情報検索サービス	109,111	55,326	131,815	63,673	22,704	8,346
合計	1,876,608	1,091,385	2,960,999	1,380,583	1,084,391	289,197

② 販売実績

	前年同四半期	当第2四半期	増減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
ライセンス販売	300,953	263,817	△37,136	△12.3
コンサルティング・サービス	684,034	1,418,278	734,244	107.3
サポート・サービス	747,976	921,570	173,593	23.2
情報検索サービス	98,749	121,604	22,854	23.1
合計	1,831,714	2,725,270	893,556	48.8

(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は、4,480,255千円(前連結会計年度末比977,720千円増加)となりました。これは主に、現金及び預金の減少136,758千円および受取手形及び売掛金の増加417,268千円、ならびに仕掛品の増加92,752千円等により流動資産が412,078千円増加し、株式会社ジールの事業承継に伴うのれんの増加535,948千円、開発および保守部門を中心とする新事業所用物件の敷金保証金の増加33,406千円等により固定資産が566,274千円増加したことによるものです。

負債合計は、2,829,546千円(前連結会計年度末比859,183千円増加)となりました。これは主に買掛金の増加180,754千円、短期借入金の増加423,000千円、一年内返済予定の長期借入金の増加122,460千円、未払法人税等の減少183,121千円、賞与引当金の減少108,268千円などにより流動負債が411,747千円増加し、長期借入金の増加464,140千円等により固定負債が447,435千円増加したことによるものです。

また、純資産合計は1,650,709千円(前連結会計年度末比118,536千円増加)となりました。これは主に、四半期純利益136,104千円の計上と剰余金の配当18,775千円によるものです。自己資本比率は36.8%と前連結会計年度末の43.7%より6.9ポイント減少となりました。尚、自己資本比率については40%以上を保つことを目安として、外部からの資金調達などを行っておりますが、当第2四半期には株式会社ジールの増加運転資金や冬期賞与支払いなど季節性資金需要に対応するため、当社が短期借入にて一括して低利で調達し、これをグループ間貸借の原資としたことに加え、第3四半期におい

ては、2月に新事業所の開設や株式会社ジールのオフィス移転が予定されているために、意図的に流動性を厚くしている経緯もあり、現状は40%を下回る水準にあります。しかしながら、移転完了以降の余剰資金については、原則、短期借入の返済に充当し、早期に自己資本比率40%以上の回復を図る意向です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ136,758千円減少し、1,985,230千円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は416,233千円となりました。(前年同四半期は60,538千円の獲得)

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益239,479千円、仕入債務の増加額180,754千円、未払金及び未払費用の増加額44,902千円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額417,030千円、引当金の減少額152,139千円、たな卸資産の増加額34,451千円、法人税等の支払額219,327千円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は629,369千円となりました。(前年同四半期は15,773千円の使用)

支出の主な内訳は、事業譲受による支出565,500千円、開発や保守部門を中心とする事業所を新設するための敷金及び保証金の差入による支出33,406千円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は907,787千円となりました。(前年同四半期は63,246千円の獲得)

収入の内訳はグループ企業の運転資金需要を賄う目的で、新たに短期借入を実行したことによる収入438,000千円とジールの事業承継にあたり調達した長期借入による収入600,000千円であり、支出の主な内訳は、社債の償還による支出70,000千円、配当金の支払額18,775千円等です。

内部留保は、増加運転資金需要や新規事業への投資並びにR&Dを賄うには十分な水準であり、また取引金融機関とも良好な関係を築いていることから、安定的な資金の調達・運用を行っております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績につきましては、平成24年7月30日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間の業績は堅調に推移しておりますが、政権交代の経済環境への影響やお客様のIT投資を促す企業収益動向といった市場を取り巻く外部要因のほか、株式会社ジールとの経営統合に要する諸費用の今後の発生等の内部要因が業績へ与える影響について見通しにくいこともあり、今後の業績の推移や進捗については慎重にモニタリングし、経営統合によるシナジーと成長への施策の実現に努めてまいります。

※ 上記は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、平成24年7月20日に完全子会社「ジール分割準備株式会社」を設立し連結範囲に含めております。

なお、当該子会社は平成24年10月1日を効力発生日とする吸収分割により株式会社DHI（平成24年10月1日付で株式会社ジールから商号変更）の情報システム事業を承継し、同日株式会社ジールに商号を変更しております。

これにより、連結子会社の数は3社から4社となっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,121,988	1,985,230
受取手形及び売掛金	669,810	1,087,078
仕掛品	94,424	187,177
原材料及び貯蔵品	6,875	6,312
その他	170,428	209,806
流動資産合計	3,063,526	3,475,605
固定資産		
有形固定資産	115,382	129,552
無形固定資産		
のれん	1,276	537,225
ソフトウェア	65,217	51,203
その他	678	1,030
無形固定資産合計	67,172	589,458
投資その他の資産		
敷金及び保証金	204,008	237,414
その他	48,122	44,534
投資その他の資産合計	252,130	281,949
固定資産合計	434,685	1,000,960
繰延資産		
社債発行費	4,323	3,690
繰延資産合計	4,323	3,690
資産合計	3,502,535	4,480,255
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	95,795	276,549
短期借入金	65,000	488,000
1年内償還予定の社債	135,000	95,000
1年内返済予定の長期借入金	—	122,460
未払金及び未払費用	92,588	147,036
未払法人税等	222,223	39,101
前受収益	742,663	753,807
賞与引当金	194,220	85,952
役員賞与引当金	47,480	19,768
受注損失引当金	19,450	11,759
その他	136,435	123,169
流動負債合計	1,750,855	2,162,603
固定負債		
社債	150,000	120,000
長期借入金	—	464,140
資産除去債務	67,867	75,920
その他	1,639	6,882
固定負債合計	219,506	666,942
負債合計	1,970,362	2,829,546

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	288,400	288,400
資本剰余金	225,200	225,200
利益剰余金	1,021,908	1,139,236
自己株式	△56	△56
株主資本合計	1,535,451	1,652,779
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△126	7
為替換算調整勘定	△3,151	△2,077
その他の包括利益累計額合計	△3,278	△2,070
純資産合計	1,532,173	1,650,709
負債純資産合計	3,502,535	4,480,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,831,714	2,725,270
売上原価	912,810	1,582,514
売上総利益	918,903	1,142,756
販売費及び一般管理費	739,231	893,389
営業利益	179,671	249,366
営業外収益		
受取利息	144	160
業務受託料	—	200
未払配当金除斥益	249	128
営業外収益合計	394	488
営業外費用		
支払利息	3,161	4,649
支払手数料	4,174	4,778
その他	2,348	948
営業外費用合計	9,685	10,376
経常利益	170,380	239,479
税金等調整前四半期純利益	170,380	239,479
法人税、住民税及び事業税	54,847	37,615
法人税等調整額	23,120	65,759
法人税等合計	77,967	103,375
少数株主損益調整前四半期純利益	92,413	136,104
四半期純利益	92,413	136,104

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92,413	136,104
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	43	134
為替換算調整勘定	△193	1,073
その他の包括利益合計	△150	1,208
四半期包括利益	92,262	137,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,262	137,312
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	170,380	239,479
減価償却費	69,768	52,063
たな卸資産評価損	1,875	562
社債発行費償却	632	632
のれん償却額	1,276	29,551
引当金の増減額(△は減少)	60,447	△152,139
受取利息及び受取配当金	△144	△160
支払利息	3,161	4,649
支払手数料	4,174	4,778
売上債権の増減額(△は増加)	△98,791	△417,030
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30,940	△34,451
仕入債務の増減額(△は減少)	15,282	180,754
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△79,470	44,902
前受収益の増減額(△は減少)	△67,402	△95,619
その他	28,729	△50,229
小計	78,977	△192,256
利息及び配当金の受取額	144	160
利息の支払額	△3,229	△4,810
法人税等の支払額	△15,354	△219,327
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,538	△416,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,751	△26,226
有形固定資産の売却による収入	—	101
無形固定資産の取得による支出	△2,022	△4,337
敷金及び保証金の差入による支出	—	△33,406
事業譲受による支出	—	△565,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,773	△629,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	235,000	438,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△15,000
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△5,000	△13,400
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14,010	△9,288
社債の償還による支出	△40,000	△70,000
支払手数料の支出	△1,008	△3,747
配当金の支払額	△11,734	△18,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,246	907,787
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	1,056
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	107,947	△136,758
現金及び現金同等物の期首残高	1,544,216	2,121,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,652,164	1,985,230

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。